

令和5年度第5回下関市公立大学法人評価委員会 議事録【概要】

日時：令和6年3月19日（火）15：00～16：00

場所：カラトピア5階C会議室

出席者：下関市公立大学法人評価委員会

吉田委員、藤上委員、佐藤委員、佐伯委員、事務局

公立大学法人下関市立大学

山村理事長、韓副理事長（学長）、杉浦理事（副学長）

吉鹿理事（事務局長）、法人事務局

1	開会
事務局	<p>○委員4名が出席</p> <p>○委員の過半数が出席しているため、下関市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定により、会議が成立している。</p> <p>○傍聴人はいない。</p>
2	(1) 第3期中期目標の期間の終了時までには法人の業務を継続させる必要性、組織の在り方その他その組織及び業務の全般にわたる検討について
事務局	<p>○検討を行うに必要な第4期中期目標・計画の策定に係る意見書（案）について説明</p> <p>・令和5年度第1回から第3回の法人評価委員会で行った第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価を踏まえ、第4期中期目標・計画の策定において課題となる事項を抽出</p> <p>(1) 質の高い学生の安定的確保のための取組（教育に関する目標）</p> <p>(2) 国県市及び民間企業からの受託研究並びに教員の科学研究費助成事業の申請・採択率の向上（研究に関する目標）</p> <p>(3) 更なるグローバル化に対応する人材を育成するための取組（産官学連携の推進に関する目標）</p> <p>(4) 法人運営を資金的に安定化させるための自己収入の増加（管理運営に関する目標）</p>

	<p>・抽出した課題に対応するように、第4期中期目標・計画の策定に当たって留意すべき事項を明記</p> <p>(1) 少子化等、困難な状況下にある中で入学志願者増に向けて努力をしているが、今後は、地元の小中学生と交流を深めながら下関市立大学の良さを知ってもらう取組を検討するなど様々な方策を検討すること(教育に関する目標)。</p> <p>(2) 独創性及び特色のある高水準の研究の推進について、URA室を中心に支援体制を強化すること(研究に関する目標)。</p> <p>(3) 企業・団体、学生、教員の三者が一体となり、学生の課題発見力や課題解決力、コミュニケーション力を養成すること(産官学連携の推進に関する目標)。</p> <p>(4) 自己収入の増加について、URA室を中心に支援体制を強化すること(管理運営に関する目標)。</p>
委員	(質疑なし)
委員長	○意見書(案)については、当評価委員会の決定事項として確定してよろしいか。
委員	(異議なし)
2	(2) 第3期中期計画の一部変更について
委員長	○第3期中期計画の一部変更について説明をお願いします。
法人	<p>○市において第3期中期目標が変更され、昨年12月28日付けで当法人に対して指示が出されたものに対応するため、第3期中期計画の変更について申請をしたところ。</p> <p>○第3期中期計画の変更案について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「No. 1 教育内容の充実」を「No. 1-1 経済学部における教育内容の充実」に変更 ・データサイエンス学部の計画として、「No. 1-2 データサイエンス学部における教育の適切な実施」を設定し、内容を「設置計画に基づき定めたカリキュラムを適切に運用する」とした。 ・「No. 2 経済学部としての専門教育の充実」を「No. 2-1 経済

学部としての専門教育の充実」に変更

・データサイエンス学部の計画として、「No. 2-2 データサイエンス学部としての専門教育の適切な実施」を設定し、内容を「設置計画に基づいた専門教育を行う」とした。

・第3期中期計画において、データサイエンス学部は1年目のみの内容となるが、1年次配当専門科目は、「情報社会及び情報倫理」「情報学概論」「確率論」「データサイエンス入門」などがある。

・「No. 13 求める学生像の明確化」を「No. 13-1 経済学部における求める学生像の明確化」に変更

・データサイエンス学部の計画として、「No. 13-2 データサイエンス学部における入学者の選抜の適切な実施」を設定し、内容を「定めたアドミッションポリシーに基づき、入学者選抜を実施する」とした。

・中期目標の変更と関連がないが、2022年度に教員免許更新制度が廃止されたことを踏まえ、「No. 40 地域が求める人材養成への貢献」の計画内容のうち「また、2023年度を目途に教員免許更新のための講習を開催し、初等中等教育機関の教員の資質向上に寄与する。」を削除

・なお、講習開催に向けた検討は、制度廃止が見込まれた2021年度に終了させた。

委員

○データサイエンス学部のアドミッションポリシーについては、来年度は入試が変わるなど、今後、色々と状況が変化してくると思うので、学生の状況にもよるが、後々動きやすいような形にしておく必要がある。

○例えば、統計の試験をどのように取り扱うのかというのは、大学によって異なってくるが、イントロ部分は高校で勉強できている状態になり、大学での教え方も変わってくる。それを踏まえると、入口のところのアドミッションが変わってくる可能性がある。

○4年間を経過するうちに、社会的に構造が変化し、AIが色々なところで使われ、セキュリティーやOpenAIなどの扱い方をどうするかなど、今

	<p>後いろんな変化が起き、それに対して、変更を迫られることになると思う。</p> <p>○下関市立大学の入試選抜状況のうちデータサイエンス学部の志願倍率について、全国推薦が0.6倍、地域推薦が0.7倍となったが、1倍を下回った点について説明をお願いします。</p>
法人	<p>○推薦入試の時点では、文部科学省の定めを遵守し、学部設置の認可がされるまでの宣伝活動を抑えていたことや、志願者が集中することを危惧した学生達が志願を控えた可能性などが挙げられる。</p> <p>○学部設置の認可後、速やかに広報を含めた活動を行い、結果的には、データサイエンス学部の中期日程の志願倍率は約40倍となり、非常に高い志願倍率になった。</p>
委員	<p>○来年度は看護学部もあるので、データサイエンス学部のPRとともに何かしら取り組みを行えば、データサイエンス学部の推薦入試のような状態にならなくて済むのかなと思う。</p> <p>○科学研究費助成事業の申請率が94%ということだが、採択の結果はどうか。</p>
法人	<p>○新規採択者は7名となった。2018年度からの採択者の推移は、3名、3名、4名、5名、5名であり、申請者が増えたことで、採択者も増えた。</p> <p>○昨年に設置したURA室において、申請書の確認や説明会の開催などの教員のサポートを行い、教員からも非常に助かったという声もあった。</p>
委員	<p>○海外研修について、円安の状況であるため、こちらからの学生は生活費が大変と思うが、どのような対応をされているのか。</p>
法人	<p>○昨年度及び今年度は、経済的な負担が理由と思うが、海外研修の申請者は少なかった。</p> <p>○学生の海外研修を支援するため、①協定校(ソウル)の学内の寮を提供してもらい費用を抑える、②より質の高い研修先(ボルドー、サンフランシスコ)を開拓する、③希望する学生が経済的な理由で諦めると</p>

	<p>ということがないような支援の要請(後援会や地域の各種団体などに対して)、ということを検討・調整している。</p>
委員	<p>○先日、釜山に行った方が、超高層建築物が200棟ぐらい並ぶ海雲^{ヘウン}台^テの発展ぶりに驚かされ、福岡空港に戻ると、釜山を見た後では福岡でも少し寂しく感じたと言われていた。語学を学ぶのであれば長期間の体制が必要となるかもしれないが、日本がこの30年でどれだけ遅れてしまったのかという現状を認識させるという意味では、船に乗ればすぐ近くに行けて、フェリーで往復、現地に二泊くらいであれば、費用もあまりかからないと思う。グローバル化の素養づくりとして、そのような機会を与えるような取り組みを行っても面白いと思う。</p>
委員	<p>○デジタル化社会に対応するカリキュラム編成に関して、メディアリテラシーの基礎的な科目は、データサイエンス学部は当然だが、他の学部でも入れておかないと、次の時代に間に合わなくなってしまう。経済学部はどうか。</p>
法人	<p>○経済学部でも入れる。</p>
委員	<p>○学生のサポート体制について、従来からの体制で十分だと思うし、特別に理系の学生が文系の学生に比べて繊細すぎるということもないと思う。ただ、これまで文系の学生しかいない大学であったため、理系の学生と文系の学生とで心の問題に違いがあるかもしれないので、サポート体制を整えてスタートしてほしい。</p> <p>○選択科目が多い文系とは違って、理系は必修科目ばかりなので、ある科目の単位を落とすと全てに影響してしまう。そのため、単位を取得できなかった学生に対して、どのようにサポートして次につなげていくか、再試験とかその他システムを決めていかなければならない。</p>
法人	<p>○これまでは、相談支援センターの相談員については外部委託としていたが、専門職の方を直接雇用するとともに、看護師も新たに採用することとした。</p> <p>○事務的には、学生支援、相談支援などの学生に関わる部署の業務がより効率的になるように整理をした。</p>

	<p>○再試験に加えて、日頃の個別指導の充実や研究室を中心とした学生同士の関係構築など、データサイエンス学部の先生方と準備を進めている。</p> <p>○新しい学部のこれまでと質が違う学生達に対する仕組みを整備しているところ。</p>
委員長	○中期計画の一部変更(案)については、当評価委員会の決定事項として確定してよろしいか。
委員	(異議なし)
2	<p>(3) その他</p> <p>ア 役員報酬の支給基準の一部変更について</p>
事務局	<p>○役員報酬の支給基準の一部変更について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下関市一般職の職員の給与に関する条例の改正に伴い、法人においても、役員報酬規程の期末手当に係る第6条第2項に規定する基準報酬月額に乗じる支給割合を改正 <p>【令和5年12月25日施行分】</p> <p>100分の264から100分の276に改正</p> <p>【令和6年4月1日施行分】</p> <p>100分の276から100分の270に改正</p>
委員長	○役員報酬の支給基準の一部変更について、意見はないか。
各委員	(異議なし)
3	閉会